令和３年７月　発行　ガーデンキッズトリア（児童発達支援）

８月トリアだより

８月の活動

月	火	水	木	金	土
2 感触・ルール スモック	3 水遊び・手指 サンダル	4 音楽・夏祭りごっこ スモック	5 運動 【早降園日】	6 感触・ルール スモック	7 休み
9 休み （山の日振替休日）	10 音楽・絵画 スモック	11 運動 認知課題	12 感触・ルール スモック	13 休み	14 休み
16 音楽・夏祭りごっこ スモック	17 運動 認知課題	18 感触・ルール スモック	19 水遊び・手指 サンダル	20 音楽・誕生会	21 休み
23 運動 【早降園日】	24 感触・ルール スモック	25 水遊び・手指 サンダル	26 音楽・夏祭りごっこ スモック	27 運動 認知課題 【避難訓練】	28 感触 スモック
30 感触・ルール スモック	31 水遊び・手指 サンダル				

○８月 13 日(金)～８月 14 日(土)は、
夏季休暇とさせていただきます。

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本)：２日(月)、12 日(木)、20 日(金)、24 日(火)

言語聴覚士(永山)：４日(水)、５日(木)、10 日(火)、16 日(月)、23 日(月)、26 日(木)、27 日(金)、30 日(月)

理学療法士(樋口)：３日(火)、７日(土)、19 日(木)、25 日(水)

おしらせとおねがい

・持ち物全てに記名をし、持たせて下さい。また、記名がない場合は事業所にて記名をさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

・水遊びについては、7 月にコドモンにて案内させて頂きました。ご確認よろしくお願いいたします。ご不明な点がありましたら、お知らせ下さい。

・降園時の引き継ぎを 13 時 50 分頃より開始しています。14 時 15 分までに来所されない場合は、一度ご連絡させて頂きます。

・活動時間確保の為、9 時 50 分～10 時 15 分までにご登園下さい。給食準備の為、10 時 15 分までに登園されない際は、ご連絡させていただきます。

・下着（パンツ）の貸し出しがあった際は、未使用の物を返却して頂きますよう、よろしくお願い致します。

・お子様のことで悩み事や困り事等ありましたらご相談下さい。交換ノートも必要に応じてご活用下さい。一度お預かりし、返事を書かせて頂きます。

・トイレトレーニングを行っている方は、トレーニングセット（パンツ、ズボン、Tシャツ、肌着、ビニール袋）を袋にまとめて準備をしていただきますよう、お願い致します。

・着替えた衣類を入れる袋を、必ず持たせて下さい。（スーパーのビニール袋等で構いません。）

夏のせいにして

今年も夏がやってきました。“with コロナ”の夏も２巡目となりましたが、不便や不都合をなんとかやりくりし、困惑や徒労感をうまくしのぎながら日々の生活を送っている、お子さんたちも保護者のみなさんも、ぜひご自身を褒めてなでて愛でてくださいね。ちなみに、頬でも腕でもおなかでも、自分の一番安心する身体の部位を包み込むように触れたり優しくさすったりすることにより、気持ちほっこり作用のある「幸せホルモン(オキシトシン)」が分泌されるそうですよ。

さて話は戻りまして…夏です！年々暑さは応えるものの、やっぱり気持ちは上向きなぜか意欲も湧く季節です(あくまでもわたしは、ですが)。感染対策をとりながら、海や山やお外を満喫するのも楽しそうですね。ただ“命に関わる暑さ”の日も少なくないのが近年の夏。新しい生活様式になって、コロナ前の時代よりもおうち時間の過ごし方アイディアを豊富に見聞きできるようになりましたし、ステイホームで「夏なので…○○してみました」体験はいかがでしょう？時間や手間は掛かるけど「こんなことまでおうちでできちゃうの?!」ってことに、家族で力を合わせて挑戦するのもおもしろそうです。お子さんにも何か役割や仕事(道具などの運搬とか、味見とか、動かないように材料を押さえる係とか、なんでも)を任せてみるのもいいですね。

でも、日常生活の一コマを、子どもと一緒にやってみる、ということでも十分に楽しい思い出になることでしょう。例えば、冷やし中華やそうめん・かき氷といった夏らしい食べ物をつくって食べる、蚊取り線香を焚きうちわで扇ぎながら夕涼みをする、お風呂上がりに浴衣や甚平を着る、などなど。「楽しい」「うれしい」「心がポカポカする」を親子や家族で共有できることなら、な～んでもいいと思います。

ちなみに、わたしは今年の夏、既に２つも「夏なので…○○してみました」よ。一つは「網戸の張り替え」、もう一つは「採れ立てきゅうりで漬物づくり」、です。「それって一年中できるんじゃ?」と言うご指摘、ありがとうございます。網戸は夏の季語ですし、きゅうりの旬は夏なのですから、れっきとした夏のイベントです、問題ありません！

そう、「夏なので…○○してみました」の○○は、こじつけでも何でもいいんです。大切なのは共同行為体験をきっかけに、親子・家族で心と心が触れ合い、通い合うことなのですから。そのあたたかな記憶は、子どもたちが長い人生の中でいつか心がささくれ立ったときのワセリンとなるはずです。残念ながら、わたしの場合は単独行為によるイベントでしたが、ぜひみなさんはお子さんと一緒に夏を満喫してくださいね。

公認心理師　松本みどり